

The Future Envisioned by Meiji Aristocrats ~ A Romantic Tale of The Development of Nasunogahara ~



JAPAN HERITAGE



わずか140年前まで
人の住めない荒野が広がっていた
日本最大の扇状地「那須野が原」——

明治政府の中枢にあった貴族階級は、
この地に私財を投じ大規模農場の経営に乗り出します。
近代国家建設の情熱と西欧貴族への憧れを胸に
荒野の開拓に挑んだ貴族たち。
その遺志は長い闘いを経て、
那須連山を背景に広がる豊饒の大地に結実しました。
ここは、知られざる近代化遺産の宝庫。
那須野が原に今も残る華族農場の別荘を訪ねると、
近代日本黎明期の熱気と、
それを牽引した明治貴族たちの足跡を垣間見ることができます。

日本遺産

明治貴族が描いた未来

（那須野が原開拓浪漫譚）

栃木県那須塩原市—大田原市—矢板市—那須町



那須野が原に残る 明治の余韻

日本最大の扇状地「那須野が原」には、明治から昭和にかけて、大規模農場がひしめき合った時代がありました。大規模農場を拓いたのは、明治維新をけん引した元勲や、明治政府の要職を歴任した貴族階級——いわゆる「華族」。華族たちが農場に築いた別邸は、かつての農場主たちが抱いた欧州文化へのあこがれと、近代国家建設の情熱を静かに語りかけてきます。



1 旧青木家那須別邸



明治政府で外務大臣を務めた青木周蔵が残した別荘は、いまでも日傘を手に貴婦人が姿を現しそうな白亜の洋館です。青木周蔵はドイツ翁と呼ばれるほどのドイツ通で、自身の農場内に明治21年にドイツ様式の別荘を建設しました。

問 0287-63-0399 (道の駅「明治の森・黒磯」管理事務所)
住 那須塩原市青木27

2 松方別邸

華族が試みた大規模農場の代表格が、大蔵大臣や内閣総理大臣を歴任した松方正義が開拓した「千本松農場」です。その一角に建つ別荘は、南に全面ガラス窓のサンルームを配した総2階の建物で、1階正面は大谷石で飾り、一見すると石造建築を思わせる重厚さを漂わせています。現在も別荘として使用されていますが、千本松牧場のサイクリングコースから外観を望むことができます。



問 0287-37-5419 (那須塩原市生涯学習課)
住 那須塩原市千本松 (千本松牧場内)
※外観のみ見学可能

3 山縣有朋記念館



内閣総理大臣を務めた山縣有朋が別荘として小田原古稀庵に建てた洋館を山縣農場内に移築しました。

問▶0287-44-2320
住▶矢板市上伊佐野1022

4 大山別邸



元帥を務めた大山巖が自身の農場内に建てた別荘で、当初は和風別荘が建てられ、その後農場内で焼いたレンガを利用した素朴で重厚な造りの洋館が増築されました。

※見学要お問い合わせ
問▶0287-36-1225(栃木県立那須拓陽高校)
住▶那須塩原市下永田4-3-52(栃木県立那須拓陽高校内)

5 矢板武旧宅



開拓に欠かせない水の確保のため那須疏水開削に尽力した矢板武の旧宅です。当時交流のあった勝海舟が「聚塵亭」と書いた額などが展示されています。

問▶0287-43-0032(矢板武記念館)
住▶矢板市本町15-3

6 乃木希典那須野旧宅



陸軍大将を務めた乃木希典が自ら設計した、農家風の質素な別荘です。乃木將軍を祀る乃木神社の敷地内にあります。

問▶0287-36-1194(乃木神社)
住▶那須塩原市石林820
※外観のみ見学可能

7 山田農場事務所跡(山田資料館)



司法大臣を務めた山田顕義の農場事務所跡です。山田農場及び山田家ゆかりの資料が展示されています。

問▶0287-72-0991
住▶那須郡那須町寺子丙4-2
※見学要お問い合わせ

8 西郷神社



西郷隆盛の弟で、元帥海軍大将を務めた西郷従道を祀る非常に珍しい石製の神社です。

問▶0287-23-3135(大田原市文化振興課)
住▶大田原市加治屋83-1

那須野が原を拓く

華族たちの大規模農場は、明治から昭和へと時を経て、戦後の開拓団に引き継がれました。明治期から導入されていた牧畜の主流は羊から乳牛へと代わり、技術革新により生産性が向上。やがてこの地は生乳生産本州一を誇る大酪農地帯へと成長していきます。明治から途切れることなく続く開拓の歴史が作り上げた現在の那須野が原。いま、この地を訪れる人々は、四季折々の美しさに触れ、自然の中に遊び、大地の恵みを味わうことができます。

9 千本松牧場

松方正義は西洋農具を導入して広大な土地を開拓し、その総面積は最盛期には1600haに達しました。現在も834haの敷地が、当時の面影を残しつつも、観光牧場として多くの観光客を迎え入れています。約500頭の乳牛を飼育しており、牛の食べる飼料、牧草を育てる土からこだわり、乳製品を生産しています。

問 0287-36-1025

住 那須塩原市千本松799



10 那須ワイン



那須野が原は、ブドウ栽培の着手も早く、明治17年には既にワインの醸造が行われ、農場主たちの食卓を彩りました。渡邊葡萄園は、国内でも最も古いワイナリーの一つで、創業以来変わらぬ製法で生産されています。生前の乃木將軍が愛飲したといい、現在も乃木神社に奉納されています。

問▶0287-62-0548(渡邊葡萄園醸造)

住▶那須塩原市共墾社1丁目9-8

12 南ヶ丘牧場

昭和23年に満州からの引揚者が、満州で培った畜産の知識と経験を生かし、酪農を生産基盤とする開拓が行われました。日本でもわずか200頭ほどしかいないと言われる「ガンジ牛」を飼育し、乳質の良さから原産国イギリスでは「貴族と富豪の牛乳」とも言われたほどの乳製品を提供しています。

問 0287-76-2150

住 那須郡那須町湯本579



11 矢板のリンゴ



大正3年に山縣有朋が青森県から技師を呼び苗木を植栽したのが始まりとされています。矢板のリンゴの特徴は「樹上完熟」と「直売」です。市場出荷はせず完熟したリンゴを庭先販売しており、リンゴ農家がそれぞれ情熱をもって育てています。リンゴ園を訪れる際はぜひオーナーの熱い思いを聞いてみてください。

問▶0287-43-6211(矢板市商工観光課)

住▶矢板市長井、中地内

～ 開拓の歴史を今に伝える ～

13 那須野が原博物館

警視總監を務めた三島通庸の農場事務所跡地にあります。常設展示で、那須野が原の開拓と華族農場の展開を紹介しているほか、日本遺産に関する展示もあります。

問 0287-36-0949

住 那須塩原市三島5-1



14 旧塩原御用邸新御座所

三島通庸が塩原温泉郷に建築した別荘が、明治36年に皇室に献上されたものが前身となっています。昭和56年に新御座所の部分のみ現在の場所に移築されました。

問▶0287-32-4037(天皇の間記念公園)

住▶那須塩原市下塩原1266



23 那須基線(観象台)

明治11年に設けられた測量基準線の北端点と南端点です。2点間の距離は約10.63km。2点を結んだ「たて道」と呼ばれる本州一長い直線道路が南北に走ります。

問▶0287-37-5419(那須塩原市生涯学習課)

住▶那須塩原市千本松716-1(北端点)大田原市親園1989-23(南端点)



15 山縣農場

明治19年に山縣有朋(公爵・内閣総理大臣)が開墾した農場跡です。現在も「第一農場」「第二農場」という名称が行政区として存続しています。

問▶0287-43-6218(矢板市生涯学習課)

住▶山縣有朋記念館南側周辺



24 那須野が原博物館収蔵資料

日本近代洋画の祖、高橋由一作『鑿道八景』や、那須野が原開拓にまつわる『那須開墾社関係文書』、『那須疏水関係文書』等が保管されています。

問▶0287-36-0949(那須野が原博物館)

住▶栃木県那須塩原市三島5-1



16 大山参道

大山嶽は大正5年に亡くなりましたが、本人の遺志により、遺体は那須野が原の農場内に葬られました。参道は、大正6年に、宮内省技師の設計により整備されました。

問▶0287-37-5107(西那須野支所産業観光建設課)

住▶那須塩原市下永田2-3



25 旧黒田原駅舎瓦

明治20年に黒磯～白河間の鉄道が開通し、旧黒田原駅は、山田農場の一角に、明治24年に開業しました。取り壊された駅舎の瓦が、現在那須歴史探訪館に展示されています。

問▶0287-74-7007(那須歴史探訪館)

住▶那須郡那須町大字芦野2893



17 烏ヶ森の丘

明治18年那須疏水開削の起工式が挙行された場所で、丘の上からは三島通庸が農場内に区画整理した「碁盤の目」と呼ばれる街並みを見渡すことができます。

問▶0287-37-5419(那須塩原市生涯学習課)

住▶那須塩原市三区町5-6



26 謝恩碑

明治24年に山田農場を開いた、山田顕義及び山田家への謝意を記した碑です。昭和30年に建立されました。

問▶0287-72-6565(那須町生涯学習課)



18 平田東助の墓

品川弥二郎から譲渡された傘松農場を営し、信用組合(産業組合、現在の農協など)の礎を築いた平田東助の墓碑です。

問▶0287-23-3135(大田原市文化振興課)

住▶大田原市蛭田1980-8



27 「拓魂」碑

「戦後開拓」としての金丸原開拓の歴史と、開拓初代の氏名を記す記念碑で、昭和51年に金丸原開拓農業協同組合により、金丸原開拓の拠点であった敷地に建立されました。

問▶0287-23-3135(大田原市文化振興課)

住▶大田原市湯津上3116-1



19 御亭山緑地公園

那須野が原東部に位置する標高512.9mの山で、山頂は公園として整備されており、那須野が原を一望できる景勝地となっています。

問▶0287-23-3135(大田原市文化振興課)

住▶大田原市北滝1820-2



28 「開拓」碑

那須野が原北部の未開地は、戦後、旧軍人や満州からの引揚者が入植し開墾しました。雄大な那須岳を望む千振開拓地に建つ記念碑には、厳しい開拓の様子が刻まれています。

問▶0287-72-6565(那須町生涯学習課)

住▶那須郡那須町豊原丙3987



20 那須野が原公園(県北大規模公園)

総面積は約57haで、当時の面影を残す自然林と丘陵を活用し、那須野が原や那須連山の眺望を楽しむことができます。

問▶0287-36-1220(那須野が原公園管理事務所)

住▶那須塩原市千本松801-3



29 大田原市歴史民俗資料館収蔵資料

大正14年に作図された『傘松農場土地台帳図』や『傘松農場事務所』関係の図面などが保管されています。

問▶0287-98-2151(大田原市歴史民俗資料館)

住▶大田原市湯津上194



21 蛇尾川

全長41.1kmの河川で、那須野が原扇状地の扇中央部で伏流し約12km下流で地表に現れるため、雨期を除き延々と水のない河床が続き、所々車で横断できる場所もあります。

問▶0287-37-5419(那須塩原市生涯学習課)



30 大田原市大野放牧場

大田原市営牧場で、牧区面積は約27haあります。明治期には御料地でしたが、後に陸軍演習場用地となり、戦後は「金丸原開拓」として開拓が進められました。

問▶0287-23-3135(大田原市文化振興課)

住▶大田原市湯津上5-1068



22 那須疏水旧取水施設

那須野が原の灌漑を目的とし、明治18年に国営事業として開削された那須疏水の取水施設の遺構であり、那須野が原開拓事業の象徴的施設です。

問▶0287-37-5419(那須塩原市生涯学習課)

住▶那須塩原市西岩崎230

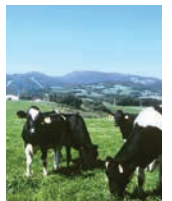


31 那須町共同利用模範牧場

那須連山の東南斜面、酪農乳用牛の効率的な育成を目的として作られた、敷地333haを有する放牧場で、現在的那須の風景を象徴しています。

問▶0287-72-6565(那須町生涯学習課)

住▶那須郡那須町大島1988



NASUNOGAHARA GUIDE MAP



那須野が原 伏流水の恵み

大田原銘酒六つ蔵



那須野が原という自然のろ過装置で磨かれた、旨味たっぷりの伏流水が、優しい味わいの地酒を育みます。大田原は、栃木県で最も多い六つの酒蔵が営む「地酒のまち」です。

問▶0287-23-8709 (大田原市商工観光課)



那須疏水

那須野が原開拓をけん引した那須疏水。明治18年に本管水路が開削されたのを皮切りに、その翌年には第一分水から第四分水がほぼ完成。本管水路は16.3km、4本の分水路の延長はおよそ49kmにもなります。那珂川から取り入れられた水は、那須野が原を横断しながら4つに分かれ、さらに支線が毛細血管のように走り、開墾により開かれた田にいまも水を注ぎ続けています。安積疏水(福島県)、琵琶湖疏水(滋賀県・京都府)と並んで「日本三大疏水」と言われています。

歴史ある温泉地

今から約1380年前に発見されたとされる栃木県最古の温泉「鹿の湯」に始まる「那須温泉郷」。
1200年以上も前に発祥し、夏目漱石、斉藤茂吉、尾崎紅葉、与謝野晶子などの文人が滞在した「塩原温泉郷」。
古くから「下野の薬湯」として知られ、現代アートも楽しむことができる「板室温泉」。
那須地域には、歴史ある温泉地が存在します。

A 那須温泉郷



栃木県内最古の温泉「鹿の湯」、川のように流れる温泉をせき止めて露天風呂にしている「大丸温泉」、風情に満ちた「北温泉」など、本物の温泉を堪能できます。

問 0287-76-2619(那須町観光協会)
住 那須町湯本 他

B 塩原温泉郷



豊富な湯量と多彩な泉質が特徴で、日本に10種類ある泉質のうち6種類の泉質がそろった全国的にも珍しい温泉地です。明治初期に三島通庸によって塩原新道が開削されたことで、発展を著しいものとなりました。

問 0287-32-4000(塩原温泉観光協会)
住 那須塩原市塩原 他

C 板室温泉

温泉の効能から療養や保養の場として「下野の薬湯」と呼ばれる秘湯です。

問 0287-62-7155
(黒磯観光協会)
住 那須塩原市板室 他



那須地域の自然を楽しむ

那須地域は日光国立公園を含む豊かな自然環境に恵まれ、四季を通じて自然を楽しむことができます。皇族の方が静養する御用邸があることから、ロイヤルリゾートとして、知られています。

D 那須平成の森



那須御用邸用地として管理されていた、約560haの豊かな森が、自然とふれあうための場所として開放されています。

問 0287-74-6808(那須平成の森フィールドセンター)
住 那須町高久丙3254

E おしらじの滝



幻の滝と呼ばれる「おしらじの滝」。「しらじ」とは壺のこと。山の駅たかはらから塩原温泉方面へ車で約5分のところから、人が踏み固めてできた道を10分程度下ると、澄んだブルーの滝つぼが迎えてくれます。

問 0287-43-6211(矢板市商工観光課)
住 矢板市下伊佐野

F 塩原溪谷

大正天皇がご散策された塩原溪谷。幾人もの文人にも愛された溪谷美を数々の名瀑とともに楽しめます。

問 0287-32-3050
(塩原温泉ビジターセンター)
住 那須塩原市塩原前山国有林



G 沼ッ原湿原

昭和天皇が、この湿原をお気に入りになり、何度も足をお運びになられたことで知られています。

問 0287-62-7155
(黒磯観光協会)
住 那須塩原市板室



H 黒羽城址公園

芭蕉の里黒羽で毎年行われるくろばね紫陽花まつりでは、約6,000株のあじさいが咲き誇ります。

問 0287-54-1110
(大田原市観光協会)
住 大田原市前田



那須野が原



JR東京駅(東北新幹線) ▶ JR那須塩原駅 [約1時間10分]
 JR那須塩原駅(東北本線) ▶ JR矢板駅 [約15分]



川口JCT
 (東北自動車道)

▶ 西那須野塩原IC [約1時間30分]
 ▶ 黒磯板室IC [約1時間35分]
 ▶ 矢板IC [約1時間20分]
 ▶ 那須IC [約1時間40分]

INFORMATION

バス・タクシー

◎JRバス関東西那須野支店 0287-36-0109
 【那須塩原市内向け】
 ◎関東自動車バス 028-614-4366
 【那須塩原市・大田原市・那須町向け】
 ◎矢板市営バス 0287-43-1113
 【矢板市内向け】
 栃木県北地区タクシー協議会 0287-62-1526

道の駅情報

道の駅 那須野が原博物館 0287-36-0949
 道の駅 湯の香しおばら 0287-35-4401
 道の駅 明治の森・黒磯 0287-63-0399
 道の駅 那須与一の郷 0287-23-8641
 道の駅 やいた 0287-43-1000
 道の駅 那須高原友愛の森 0287-78-0233
 道の駅 東山道伊王野 0287-75-0653

歴史・文化に関するお問い合わせ

那須塩原市生涯学習課 0287-37-5419
 那須野が原博物館 0287-36-0949
 大田原市文化振興課 0287-23-3135
 矢板市生涯学習課 0287-43-6218
 那須町生涯学習課 0287-72-6565

観光に関するお問い合わせ

那須塩原市観光局 0287-46-5326
 大田原市観光協会 0287-54-1110
 矢板市観光協会 0287-43-0272
 那須町観光協会 0287-76-2619



アプリを使って、
 ラクラク那須野が原めぐり♪



明治貴族が描いた未来 ～那須野が原開拓浪漫譚～

那須野が原の周遊には、便利な観光アプリのダウンロードがおすすめ。
 那須塩原市内の観光名所や旅館・ホテル、飲食店等の情報をスマートフォンやタブレット端末等で見ることができます。また、観光名所や施設等の地図表示やナビゲーション機能もあります。

- ◆ イベント情報などの旬な情報を配信
- ◆ モデルコースの紹介
- ◆ 地図アプリと連動したナビゲーション機能

＜ダウンロード手順＞

- ① 右のQRコードをスマートフォンで読み取る
- ② アプリをダウンロード
- ③ 「ココシル」アプリを開いて、「ココシル 日本遺産 明治貴族が描いた未来」を選択

ダウンロード用
 QRコード



明治貴族が描いた未来 ～那須野が原開拓浪漫譚～

栃木県 那須塩原市 大田原市 矢板市 那須町

発行 那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会
 事務局 tel.0287-37-5419 (那須塩原市生涯学習課)
 tel.0287-62-7156 (那須塩原市商工観光課)